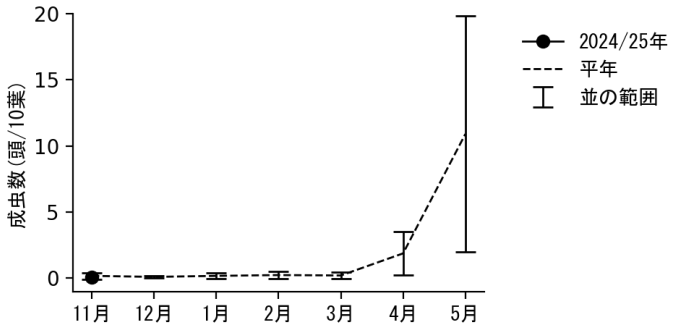
令和　6 年度　12 月予報

作物	とうがん(施設・立体栽培)		地域	宮古群島
病害虫名	① ミナミキイロアザミウマ			
調査結果	11 月の発生量（例年比）	並		
予報	11 月からの増減傾向	→		
	12 月の発生量（例年比）	並		
予報の根拠		例年の発生量の推移（→）		

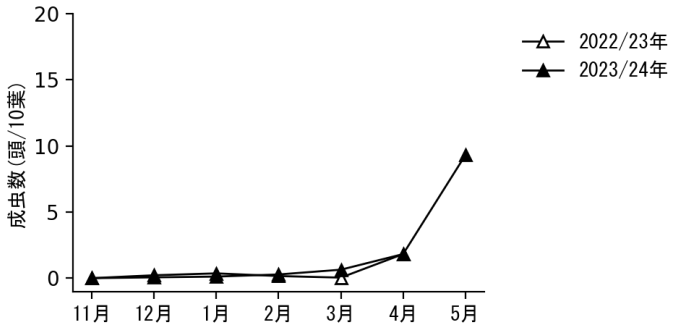
調査結果

成虫数の推移

＜今期と例年＞



＜過去２年＞



・発生施設率75.0%（平年：16.0%）

防除のポイント

・本種はスイカ灰白色斑紋ウイルスを媒介する。
・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
・施設の出入口や天窓は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
・多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

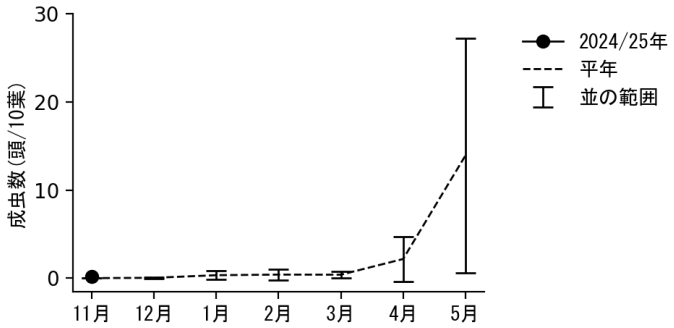
令和　6 年度　12 月予報

作物	とうがん(施設・立体栽培)		地域	宮古群島
病害虫名	② タバココナジラミ		成虫	
調査結果	11 月の発生量（例年比）	やや多		
予報	11 月からの増減傾向	→		
	12 月の発生量（例年比）	やや多		
予報の根拠		例年の発生量の推移（→）		

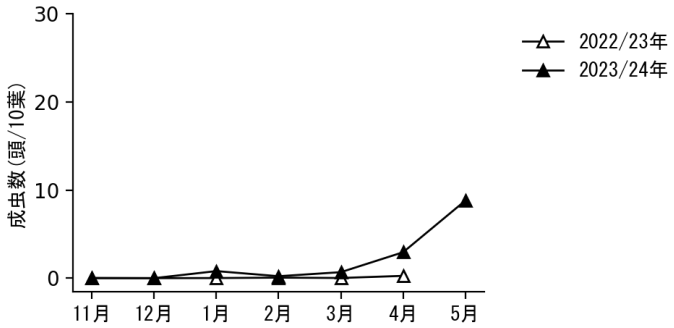
調査結果

成虫数の推移

＜今期と例年＞



＜過去２年＞



・発生施設率100%（平年：4.0%）

防除のポイント

・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
・施設の出入口は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。

幼虫